



東北大学



AJP PRESS

ASIA JOINT-DEGREE PROJECT

2014.SPRING

Vol.07



ウィンターコース2014を開催

2014年2月14日(金)から21日(金)まで、東北大学大学院教育学研究科アジア共同学位開発プロジェクトでは、ウィンターコース2014を開催いたしました。本コースは、連携大学の大学院に在籍し、日本語学習経験を有する学生を対象として、日本語を教授言語としながら授業を行うものです。参加学生は、北京師範大学(中国)、南京師範大学(中国)、華東師範大学(中国)、国立政治大学(台湾)、国立台湾師範大学(台湾)、ソウル大学(韓国)から、それぞれ2名となりました。また、東北大学に在籍する11名の学部生と5名の留学生も参加し、連携大学から参加した学生の学習サポートを行いました。

授業は、東北大学大学院教育学研究科の教員に加え、外部講師の方々にも担当して頂きました。また、授業内容は、講義形式に加え、フィールドワークを多く取り入れました。例えば、着付け等の日本文化を体験したり、被災地の現状を見学したり、高等学校において日本の高校教育現場を観察しました。こうした体験は、海外の学生にとって大変貴重なものとなったようです。

また、およそ1週間ともに学んだ学生の間には、国籍を問わず人的ネットワークが構築されたようでした。今後もこうした機会を設けることで、海外の学生同士が交流する場を積極的に提供していきたいと考えています。

ウィンターコース2014 スケジュール表

14(金)	10:00~12:00	開講式		大会議室	
	10:00~10:05	教育学研究科副研究科長・ネットワークセンター長挨拶			
	10:05~10:10	プロジェクトディレクター挨拶			
	10:10~10:30	出席者紹介			
	10:30~10:50	オリエンテーション 朴賢淑 助教			
	10:50~12:00	教育学部紹介・キャンパス案内 支倉国際委員(HISE)			
	12:00~13:00	お昼休み			
14(金)	13:00~14:30	小川 佳万 教授	日本の学校制度の特徴を考える	#306	
	14:40~14:50	本郷一夫 研究科長	研究科長挨拶	#306	
	14:50~16:20	神谷 哲司 准教	育児期移行における夫婦間相互調整	#306	
15(土)	08:50~10:20	若島 孔文 准教授	緊急時支援	#306	
	10:30~12:00	深谷 優子 准教授	協働による読解と作文	#306	
	13:00~17:00	氏家 洋子 様	生活の中で生きている日本の文化体験	太白文化センター	
16(日)	Free Day				
17(月)	08:50~10:20	後藤 武俊 准教授	日本の教育の改革課題	#204	
	10:30~12:00	田中 光晴 助教	アジアにおける比較教育的アプローチ		
	13:00~14:30	須藤 伸子 様	留学生と地域の国際理解	#204	
	15:45~16:30		国際文化センター		
	16:50~17:00		奨学金支給	川内北キャンパス	
18(火)	08:30~16:00	石井山 竜平 准教授	留学生と地域の国際理解	亘理町	
19(水)	08:50~10:20	上埜 高志 教授	学校におけるメンタルヘルス	#306	
	10:30~12:00	小形 美樹 准教授 (仙台青葉学院短期大学)	日本人学生の就職活動とキャリア		
	13:00~14:30	小川 直人 様	道具としての映像メディアの学び方		#306
	14:30~16:00		仙台メディアテーク		
20(木)	08:50~10:20	安保 英勇 准教授	日本における不登校問題とその支援の現状	#306	
	10:30~12:00	谷口 和也 准教授	日本の学校教育	#306	
	12:30~16:30		仙台南高等学校		
21(金)	08:50~10:20	上原 裕介 様	子ども・若者の社会的排除と青少年教育	#306	
	10:30~12:00	伊藤 拓 様	東日本大震災後の地域づくりと自立支援	#306	
	13:30~15:40	朴 賢淑 助教	最終発表会	#306	
	15:40~16:00		アンケート記入	#306	
21(金)	16:30~16:50	閉講式		大会議室	
	16:30~16:35	研究科長挨拶			
	16:35~16:50	修了証授与式			
	17:00~19:00	懇親会		川内北キャンパス キッチンテラス クルー	



国際シンポジウム 「グローバル人材育成とシティズンシップ教育 —アジア共通の基盤とは何か—」を開催

東北大学大学院教育学研究科アジア共同学位開発プロジェクトは、2014年1月11日(土)に、TKPガーデンシティ竹橋(東京都千代田区)において、国際シンポジウム「グローバル人材育成とシティズンシップ教育—アジア共通の教育の基盤とは何か—」を開催しました。

本プロジェクトでは、東アジアの教育課題に対応できる国際的視野を持った指導的人材の養成を目指しており、そうした人材に必要な資質・能力として、コアとなる4つの要素を提唱しております。すなわち、①高度に専門的な知識(Knowledge)、②東アジアに対する理解と共感的態度(Attitude)、③教育研究技法と東アジアの言語の習得(Skill)、④世界に開かれた人的ネットワークの形成と情報発信(Practice)であり、各々の頭文字からこれらを“KASP”と称しています。私どもは、プロジェクトへ参加する学生が“KASP”を確実に修得するためのカリキュラム構築を目指し、韓国、中国、台湾の連携大学と議論を重ねています。

このたびの国際シンポジウムは、“KASP”

のうち“A: Attitude”に焦点をあてて企画しました。多様な文化や社会を持つアジアにおいて活躍する指導的人材には、他者に対する理解や共感的態度が極めて重要となります。この点は、グローバル社会において求められるシティズンシップ像とも共通する資質であると考えられるため、そうしたシティズンシップ像をふまえて、アジア型シティズンシップ像とも言うべき人材像を浮き彫りにすることを本シンポジウムは目指しました。

シンポジウムでは、まず基調講演として、本郷一夫研究科長より、アジア共同学位開発プロジェクトの趣旨や、そこでのシティズンシップ教育の位置づけやその重要性について指摘されました。

続いて、小川佳万教授(東北大学、アジア共同学位開発プロジェクトディレクター)より、アジア諸国・地域におけるグローバル人材育成の政策的動向について報告がありました。近年、東アジアでは、グローバル人材育成と関連し、特に中等教育段階から欧米諸国への留学を見据えた教育

プログラムの導入や国際交流が盛んになされていることは注目に値します。一方、本プロジェクトは、専門知識の修得に加え、外国での教育現場の観察等を行うことで、教育分野における指導的人材の育成を目指すため、単なる国際交流にとどまるものではないことが強調されました。



その後、水山光春教授(京都教育大学)より、教員養成におけるシティズンシップ教育の在り方について報告がありました。まずは、シティズンシップ教育の概念について解説された後、シティズンシップ論からみた日本が目指す教員養成についてお話をいただきました。また、京都教育大学での教員養成における、シティズンシップ教育と関連した新たな試みをご紹介いただきました。

最後に、Wing On LEE教授(National Institute of Education, Singapore)は、アジアの多様性とシティズンシップ教育について報告しました。多様性が指摘されるアジアではありますが、そこには共通性も当然みられます。こうした背景を持つアジアにおける、シティズンシップ論から見た多文化社会の在り方について、シンガポールを事例としたお話がありました。

その後の質疑応答・ディスカッションの時間には、本プロジェクトにおいて、アジアの多様性・共通性を踏まえた上でシティズンシップ教育をいかに行うことが求め

られるのか、議論が交わされました。こうした議論は、本プロジェクトのカリキュラム構成に、大変示唆に富みました。本シンポジウムを通じて、国際的視野をもった指導的人材を着実に育成できるような仕組みを整えていきたいと考えています。



国際シンポジウム次第

13:30~	開会の挨拶	本郷 一夫 (東北大学大学院教育学研究科長)
13:45~	基調講演	アジア共同学位開発プロジェクトの目指すもの 本郷 一夫 (東北大学大学院教育学研究科長)
14:15~	講演 1	アジア諸国におけるグローバル人材育成 小川 佳万 (東北大学大学院教育学研究科 教授) (アジア共同学位開発プロジェクトディレクター)
14:40~	休憩	
15:00~	講演 2	教員養成とアジアのシティズンシップ 水山 光春 (京都教育大学教育学部 教授)
15:30~	講演 3	Diversity of Asian Region and Citizenship Education Wing On LEE (National Institute of Education, Singapore 教授)
16:00~	休憩	
16:15~	質疑応答・ディスカッション	
17:00~	閉会挨拶	小川 佳万 (東北大学大学院教育学研究科 教授)

Asia Education Leader Course 合同検討委員会を実施

アジア共同学位開発プロジェクトは、国際的視野をもった指導的人材を育成するため、2014年度より本格的にアジア教育指導者養成コース(Asia Education Leader Course)を運営いたします。同コースは、東北大学大学院教育学研究科、国立政治大学教育学院(台湾)、国立台湾師範大学教育学院(台湾)、南京師範大学教育学院・心理学院(中国)、高麗大学校師範大学(韓国)の5大学6部局が共同運営するものです。各大学は、夏季および冬季の長期休業期間に交代で授業科目を開講し、学生は海外の大学へと移動しながら学ぶことになります。これまでも、私どもは共同学位開発に向けて東北大学にて集中講義型のコースを開

催し、国籍の異なる学生同士がともに学ぶ機会を設けて参りましたが、これらはあくまで単発での開催でありました。来年度からは、そうしたコースを毎年夏季・冬季に行うことで、継続的な学びを保証いたします。



2014年1月12日(日)には、上記の5大学6部局における担当教員が一堂に集まり、同コースを完成させるために打ち合わせを行いました。具体的には、“KASP”の修得に必要な授業科目のカリキュラム、学生評価の方法、単位数の設定、参加学生の学籍管理方法等について、議論を交わしました。このたびの議論を踏まえ、各大学の教員は担当科目のシラバスを作成し、アジア教育指導者養成コースとしてのカリキュラム全体を構築していく予定であります。これから、連携大学がより明確な責任を持ちながらKASP修得のための授業科目を開講することによって、質の伴ったコースを提供できると考えています。





2013年度下半期進捗状況 (2014年3月末日現在)

サマーコース 2013

- 2013年8月21日(水)～28日(水)

学術交流協定書および学生交流に関する覚書の締結

- 2013年11月15日(金) 国立台湾師範大学教育学院との学生交流に関する覚書調印式
- 2013年11月16日(土) 国立政治大学教育学院との学生交流に関する覚書調印式
- 2013年11月27日(水) 南京師範大学教育科学学院との学生交流に関する覚書調印式
- 2013年11月27日(水) 南京師範大学心理学院との学術交流協定及び学生交流に関する覚書調印式
- 2013年11月29日(金) 華東師範大学教育科学学院との学術交流協定及び学生交流に関する覚書調印式
- 2013年11月29日(金) 華東師範大学心理与認知科学学院との学術交流協定及び学生交流に関する覚書調印式
- 2014年 3月28日(金) 高麗大学校師範大学との学生交流に関する覚書調印式
- 2014年 3月28日(金) ソウル大学校師範大学との学術交流協定及び学生交流に関する覚書調印式



海外調査

- 2013年8月15日(木)～19日(月) 国立台湾師範大学、国立政治大学(台湾・台北市)
- 2013年9月14日(土)～19日(木) 南京師範大学(中華人民共和国・南京市)

国内調査

- 2013年10月 1日(火) 文部科学省「ASEAN+3 高等教育質保証フォーラム」(東京都・三田共用会議所)
- 2013年11月16日(土) 大学教育における「海外体験学習」研究会「海外体験学習の多様性と可能性—これまでの10年・これからの10年」(東京都・和光大学)

国際シンポジウム

- 2014年 1月11日(土) 「グローバル人材育成とシティズンシップ教育—アジア共通の教育の基盤とは何か—」(東京都・TKPガーデンシティ竹橋 ホール11G)

Asia Education Leader Course 合同検討委員会

- 2014年 1月12日(日) 東京都・TKPガーデンシティ竹橋 ホール11B

ウィンターコース 2014

- 2014年 2月14日(金)～21日(金)



AJP ASIA
JOINT-DEGREE
PROJECT

www.sed.tohoku.ac.jp/~ajp/

東北大学 大学院教育学研究科 アジア共同学位開発プロジェクト事務局
TEL: 022-795-3756 E-mail: ajp@sed.tohoku.ac.jp